

1 13回 「夏の清流スクール」の実施 (8月1日)

◇ 恒例の「夏の早出川清流スクール」が、8月11日(日曜日)に開かれました。

本来は、8月4日に開催される予定でしたが7月末の長雨と天候不順によって1週間延期となったものです。スクールでは、カヌーとカジカの魚取りなどの体験に70名あまりの家族が参加いたしました。また、新しいプログラムとしてライフジャケットを使った川流れ(写真)を実施しました。



▲ 清流スクールでの「昼食」

◇ まず、午前中は準備体操から始まり、新潟県環境対策課と協力して「水環境ふれあい教室」を開きました。これは、身近な水環境を学ぶため早出川の

汚れや透明度を測ったものです。その後、2コースに別れカヌー体験を実施しました。初めての体験活動となった「カジカ捕り」では、タマ網を使って参加者は上手に捕ることを覚えました。

カヌー体験は、指導者からパドルの使い方を教えてもらい、終了時までにはまっすぐ漕げるまでに上達することができました。監視員として「日本自然環境専門学校」の学生さんから協力していただきました。



《清流スクールの様子》
◆ 水質調査
◆ カジカ捕り
◆ ライフ川流れ
◆ カヌーの練習

2 白根のお魚調査に指導者派遣 (8月23日)

◇ トゲソの会では、8月23日に白根土地改良区の要請により根岸地区のお魚調査に協力してきました。会員が2名が参加し、児童の魚とりの手伝いをいたしました。

参加者は地元の小学校18名でした。例年通り、農業用水路の水を抜いて2班に分かれて水路の中にある魚類と水生生物の捕獲を行いました。その後、室内に移動して捕獲した魚類や底生動物の写真をスクリーンに写し、魚の名前などの説明を聞きました。

また、魚の漢字クイズなどを行いました。このイベントは土地改良区が児童の夏休みにあわせて行っているイベント活動です。参加した子どもたちは初めての「魚とり」や捕った魚の説明を聞いて楽しんでいました。



▲ 白根・魚調査の子どもたち

3. とげそ米の稲刈り実施 (9月21日)

◇ 猿和田地区で、9月21日に「とげそ米」の稲刈りを行いました。秋の気配とともに水田は、稲穂がたれていました。

とげそ米の稲刈りは6回目を数え、恒例の行事となりました。

今年は、幸い天候もよく小さな子ども達を含め30人ほどが参加して無事終わりました。終了後は、皆さんで「お昼」をいただきました。

原発事故以来、食べ物の安全が問題となっています。とげそ米は、農薬・化学肥料5割減で造られています。今年も「湧水の恵みセット」などを造り、皆さんにお届けしたいと思います。



▲ 9/24 とげそ米稲刈り



▲ 終了後の「お昼」



▲ ご苦労様、記念撮影

4. 生涯学習フェスティバルに参加・パネル展示 (10月6日)

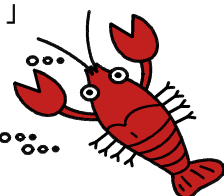


◇ 生涯学習フェスティバルが10月6日に五泉市総合会館で大勢の参加の中開かれしました。生涯フェスタは、五泉市内で活動する団体一同が集まり、市民の皆さんに日頃の活動成果を紹介するイベントです。今年で11回目を迎えます。

当会は1回目から参加、今年もトゲソの水槽、トゲソのパネル展示、ザリガニ釣りなどを展示しました。また「しそ南蛮」や、新しく売り出した「菊梅干し」などの販売を行いました。

このイベントには、毎年2,000人余りの方が訪れています。ブース展示のほかに音楽発表、ダンスなどがありました。当会が実施した「ザリガニ釣り」では多くの子どもたちが夢中になって釣り糸を垂れていました。

← 生涯フェスタ・ザリガニ釣り



5、南小 「いずみの水路」トゲソ調査 (10月11日)

◇ トゲソの会では、毎年市内小学校の総合的学習の支援をしています。昨年に引き続いて、今年もトゲソの総合学習で、生息ビオトープ「南のいずみ水路」のトゲソ生息調査を実施しました。ビオトープのトゲソ数を調査してくれたのは、南小学校3年生の児童たちで、長靴の中に水が入りながらでもがんばってくれました。

最終的に南小はトゲソは70匹あまりを確認しました。その他に、タナゴなどが4匹ほど捕ることができました。ここでも、コカナダが繁殖しており子どもたちに外来種の水草を除去してもらうようお願いしました。

このビオトープは、調べたら平成12年11月(2000年)に完成しており、13年以上も経過しています。そして、市内の河川からトゲソがいなくなった場合を考えてトゲソの避難地として確保されています。今後とも、トゲソが五泉の学校で保護されていくことを願っています。



▲ 見つかったトゲソと調査の児童

6、トゲソの会 「県自治活動賞」を受賞、市長に報告。(10月15日)



▲五泉市長に報告・記念撮影

◇ 2013年度の「新潟県自治活動賞」(あしたの新潟県を創る運動協会/新潟日報社共催)にトゲソの会が選ばれ、この10月12日に表彰されました。

今回選ばれたのは6団体で、活動賞は第27回目となります。表彰式は南区「白根学習会」で開かれ高橋代表が賞状を受け取りました。

また、その後10月15日に五泉市長を表敬訪問、県自治活動賞を受けたことを報告しました。

高橋理事長は「他のすばらしい活動をしている団体もあるのに、おこがましところがあるが、名誉なことです。」と市長に報告しました。

7、トゲソの里の生息調査。10匹を確認。(10月19日)

◇ 毎年行っている「トゲソの生息調査」が、10月19日(土曜日)に行われました。

今年も何とか雨が降らず、新潟大学と日本自然環境専門学校の学生さんが9名応援に来てくれました。また、五泉市からも環境保全課の職員が応援に駆けつけてくれました。

土堀の水路では昨年が衝撃的な1匹でした。今年は10匹のトゲソが確認されました。とは言え、この春に50匹ほどのトゲソを放流しての結果です。



アメリカザリガニはバケツに何杯も捕れ、外来種の水草コカナダモが大繁殖していました。

従って、トゲソの生息は現状では安心できるような状態でなく「危機的状況」は変わりありません。

採れたトゲソには今春に繁殖した2cm～4cmほどの幼魚が混ざっていたことから、この場所が「生育に適さない環境」でないことが確かめられました。しかし、50匹放流に対して確認された数が少なく、「繁殖率が低い」ことが問題です。繁殖が高められない原因がひそんでいることでしょう。

◇ その他、注目すべき知らせが山形県の会員からありました。10月20日の山形新聞記事によれば東根市小見川の10/8、10/9の調査でもイバラトミヨ(トミヨ属雄物型種)が「1匹」であったとのことです。

▽ トゲソの生息数

場所／年	2008	2009	2010	2011	2012	2013
土掘水路	1,598	190	14	17	1	10
猿和田水路	179	270	37	50	264	264
全体合計	1,777	460	51	67	265	265

これは「県天然記念物指定区200m区間」の調査ですが、去年は46匹であったのが1匹しか見つからなかったということです。今後、再調査はするようですが、激減の原因が五泉と同じように分からないと報道されていました。



▲活躍してくれた学生の皆さん(左)。食事風景(中)。休憩に焼き芋をいただきました(右)。



【短信】

←8/17 坂田家での朝活で枝豆の収穫祭を実施
長岡のワークライフ10/18→
フォーラムにて。NPO基金へ清流スクールの募金届ける。



今後の行事予定

★11月3日(日) PM 1:00～5:00

「五泉さといも堀り体験」

猿和田熊倉政一宅農舎集合

※ 里芋代+試食4,000円 ☆里芋5kg付き

★11月16日(土) AM 11:30～16:00

五泉応援団総会に出店ー東京・九段「ホテルグラントパレス」にて

*トゲソの会も特産品をもって参加いたします。

■ 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 高橋荘三
事務所 住所 959-1645 五泉市土堀295番地
電話 0250-47-4439・FAX 0250-47-4440 メール gosen@togeso.com
事務局 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1中村吉則方
電話・FAX 0250-22-0271 メール togeso@beige.plala.or.jp
■ ホームページ http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm
◎ トゲソ村湧水の里市場http://www.togeso.com/

